



地域の方に教えていただきました！Part1



みんなで遊ぼう会(1年)

11月27日に、生活科の学習で1年生の「みんなで遊ぼう会」がありました。

「みんなで遊ぼう会」は、地域の方をゲストティーチャーにお迎えして、こま回しやけん玉、あやとり、めんこ、羽根つきやお手玉など昔遊びを教えていただく会です。

グループごとに、それぞれの遊びのコーナーを回りながら13人のゲストティーチャーに遊びがうまくできるコツを教えてもらいます。初めはできなかった遊びも、だんだんできるようになり、「見て見て！」の声があちこちから上がりました。ふだんできないいろいろな遊びに挑戦できて、子供たちは大喜び。

また、1年生はこの日に向けて会の司会やお迎え、はじめの言葉や終わりの言葉など、自分たちで会を進める練習をしてきました。校長室へのお迎えやお見送り、はじめの会・終わりの会の進行など、本番では練習の成果をばっちり発揮できました。それぞれの役割をしっかりと果たすことができ、1年生も満足そう。ゲストティーチャーの方々にもほめていただきました。おうちの方とも冬休みに、昔遊びをして楽しめるといいですね。



きらら発表会(4年)

11月28日には、4年生の「きらら発表会」がありました。

「きらら発表会」とは、総合的な学習の時間の学習で行った職場ウォッチングで発見したことや感じたことをまとめ、他のグループに発表する会です。この会を通して、これまで学んだことを振り返ったり、自分の夢について改めて考えたりしていきます。

4年生の総合的な学習の時間のテーマは「わたしたちの暮らしを支える仕事」です。消防署や水道局、市役所、JA 呉、呉信用金庫ホールなど、各グループが訪問させていただいた職場の仕事の内容や、そこで働く方々から聞いた仕事のやりがいや心がけていること等について、ポスター形式で発表しました。お世話になった事業所の方も、たくさん来てくださいました。

子供たちは、それぞれに工夫したポスターや図や絵を見せながら、発表していきます。自分たちの発表だけでなく、他のグループの発表を聞く時間もあり、訪問していない職場のことも知ることができました。発表を聞く中で、仕事の内容は様々あるけれど、そこで働いている方たちの願いは、共通したものがあることに気付いたり、将来の自分の仕事について考える機会となったりした子供もいました。

この学習が、今度は自分の夢やなりたい仕事について考え、みんなの前で発表する1/2成人式へとつながっていきます。

